

令和 2 年度 病院事業決算状況

都道府県名 青森県

総務省

- 目次 -

市町村・組合名	病院名	ページ			
-	中央病院	2	中部上北広域事業組合	公立七戸病院	20
-	つくしが丘病院	3	一部事務組合下北医療センター	むつ総合病院	21
青森市	青森市民病院	4	一部事務組合下北医療センター	国保大間病院	22
青森市	浪岡病院	5	一部事務組合下北医療センター	むつリハビリテーション病院	23
弘前市	市立病院	6	北部上北広域事務組合	公立野辺地病院	24
八戸市	八戸市民病院	7	つがる西北五広域連合	つがる総合病院	25
黒石市	国保黒石病院	8	つがる西北五広域連合	かなぎ病院	26
十和田市	中央病院	9	つがる西北五広域連合	鰺ヶ沢病院	27
三沢市	市立病院	10			
平内町	国保平内中央病院	11			
外ヶ浜町	外ヶ浜中央病院	12			
大鰐町	町立大鰐病院	13			
板柳町	国保板柳中央病院	14			
六戸町	国保病院	15			
おいらせ町	国民健康保険おいらせ病院	16			
三戸町	国保三戸中央病院	17			
五戸町	国保五戸総合病院	18			
南部町	国民健康保険南部町医療センター	19			

病院事業決算状況(令和2年度)

都道府県名
青森県

市町村・組合名

病院名 中央病院

施設及び業務概況等

法適用区分 条例全部 特殊診療機能 透・未訓練

病院区分 一般病院 不採算地区病院 非該当

建物面積 59,131 m² 不採算地区中核病院 非該当

診療科数 25 指定病院の状況 救急・感染・災地・輪

許可公営企業 看護配置 7:1

DPC対象病院 対象 経営形態 直営

類似区分 500床以上

特殊診療機能欄 ド・人間ドック・透・人工透析・ICU・CCU・未熟児室・運動機能訓練室・ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救急・救急告示病院・臨・臨床研修病院・が...がん診療連携拠点病院・感...感染症指定医療機関・へ...へき地医療拠点病院・災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院・特...特定機能病院・輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	679	73.9	82.1	84.0
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	5	21.4	-	-
計	684	73.5	81.5	83.3
平均在院日数(一般病床のみ)		11.6	12.0	12.2

損益計算書(千円・%)

区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	28,281,177			
1 経常収益	27,904,177			
(1) 医業収益	23,428,240			
入院収益	14,848,400			
外来収益	8,035,993			
診療収入計	22,884,393			
その他医業収益	543,847			
(うち他会計負担金)	298,889			
(2) 医業外収益	4,475,937			
(うち国・都道府県補助金)	1,495,515			
(うち他会計補助・負担金)	1,761,014			
(うち長期前受金戻入)	1,048,655			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	377,000			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	27,265,025			
2 経常費用	26,888,025			
(1) 医業費用	25,273,517			
職員給与費	10,796,180	46.1	62.1	55.8
材料費	9,146,607	39.0	25.3	29.8
(うち薬品費)	5,241,859	22.4	13.5	16.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	3,782,822	16.1	11.4	13.0
減価償却費	1,889,931	8.1	9.5	8.7
経費	3,349,867	14.3	22.7	19.7
(うち委託料)	1,329,967	5.7	12.6	12.6
研究研修費	58,479			
資産減耗費	32,453			
(2) 医業外費用	1,614,508			
(うち支払利息)	53,102	0.2	1.3	1.2
(3) 特別損失	377,000			
損益経常損益	1,016,152			
純損益	1,016,152			
累積欠損金	-			
経常収支比率	103.8		101.9	102.5
医業収支比率	92.7		83.2	87.1
他会計繰入金対経常収益比率	7.4		12.3	9.1
他会計繰入金対医業収益比率	8.8		16.0	11.4
他会計繰入金対総収益比率	7.3		12.2	8.9
実質収益対経常費用比率	96.1		89.3	93.2

備考:
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

設立団体の状況	
人口(人)	1,237,984
決算規模(千円)	733,345,205
標準財政規模(千円)	384,567,882
財政力指数	0.35801
経常収支比率(%)	95.8
健全化実質赤字比率(%)	-
連結実質赤字比率(%)	-
実質公債費比率(%)	12.3
将来負担比率(%)	95.8

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	91.5
修正医業収益(千円)	23,129,351

他会計からの繰入状況(千円)	
区分	基準額
収益勘定繰入	1,730,680
資本勘定繰入	578,535
計	2,309,215
実繰入額	2,059,903
629,360	
2,689,263	

不良債務額・不良債務比率の過去3カ年推移	
年度	不良債務額(千円)
令和2年度	-
令和元年度	-
平成30年度	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうちの他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	33,832,932
1 固定資産	17,086,175
(1) 有形固定資産	16,101,291
(2) 無形固定資産	221,702
(3) 投資その他の資産	763,182
2 流動資産	16,746,757
(1) 現金及び預金	11,948,770
(2) 未収金及び未収収益	4,497,421
(3) 貸倒引当金()	30,193
(4) 貯蔵品	330,759
3 繰延資産	-
負債合計	21,883,373
1 固定負債	13,133,543
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	5,968,987
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	4,500,000
(6) 引当金	1,694,086
(7) リース債務	970,470
2 流動負債	5,287,800
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,129,677
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	100,000
(5) 引当金	688,532
(6) リース債務	283,217
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	3,008,415
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	3,462,030
(1) 長期前受金	16,751,771
(2) 長期前受金収益化累計額()	13,289,741
資本合計	11,949,559
1 資本	7,645,819
2 剰余金	4,303,740
(1) 資本	-
(2) 利益	4,303,740
負債・資本合計	33,832,932
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の

病院事業決算状況(令和2年度)

都道府県名
青森県

市町村・組合名

病院名 つくしが丘病院

施設及び業務概況等

法適用区分	条例全部	特殊診療機能	
病院区分	精神科病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	11,059 m ²	不採算地区中核病院	非該当
診療科数	3	指定病院の状況	災
許可公営企業		看護配置	15:1
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	精神病院

損益計算書 (千円・%)

区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,844,809			
1 経常収益	1,836,759			
(1) 医業収益	1,182,420			
入院収益	805,008			
外来収益	301,406			
診療収入計	1,106,414			
その他医業収益	76,006			
(うち他会計負担金)	19,118			
(2) 医業外収益	654,339			
(うち国・都道府県補助金)	10,251			
(うち他会計補助・負担金)	481,427			
(うち長期前受金戻入)	150,516			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	8,050			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,774,060			
2 経常費用	1,766,010			
(1) 医業費用	1,708,582			
職員給与費	1,066,018	90.2	62.1	104.8
材料費	180,240	15.2	25.3	8.7
(うち薬品費)	162,425	13.7	13.5	6.1
(うち薬品費以外の医薬材料費)	17,815	1.5	11.4	1.3
減価償却費	149,079	12.6	9.5	13.5
経費	309,517	26.2	22.7	33.3
(うち委託料)	158,941	13.4	12.6	18.6
研究研修費	2,137			
資産減耗費	1,591			
(2) 医業外費用	57,428			
(うち支払利息)	107	-	1.3	2.7
(3) 特別損失	8,050			
損益	経常損益	70,749		
純損益	70,749			
累積欠損金	-			
経常収支比率	104.0		101.9	101.4
医業収支比率	69.2		83.2	62.2
他会計繰入金対経常収益比率	27.3		12.3	34.2
他会計繰入金対医業収益比率	42.3		16.0	58.2
他会計繰入金対総収益比率	27.1		12.2	33.8
実質収益対経常費用比率	75.7		89.3	66.7

備考:

「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

特殊診療機能欄
ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...べき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	230	48.9	50.5	52.4
感染症	-	-	-	-
計	230	48.9	50.5	52.4
平均在院日数(一般病床のみ)	-	-	-	-

設立団体の状況	
人口(人)	1,237,984
決算規模(千円)	733,345,205
標準財政規模(千円)	384,567,882
財政力指数	0.35801
経常収支比率(%)	95.8
健全化実質赤字比率(%)	-
連結実質赤字比率(%)	-
実質公債費比率(%)	12.3
将来負担比率(%)	95.8

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	68.1
修正医業収益(千円)	1,163,302

他会計からの繰入状況(千円)	
区分	基準額
収益勘定繰入	477,157
資本勘定繰入	27,664
計	504,821
実績額	500,545
資本額	55,328
計	555,873

不良債務額・不良債務比率の過去3カ年推移	
年度	不良債務額(千円)
令和2年度	-
令和元年度	-
平成30年度	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:

・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうちの他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。

・「不良債務額」、「不良債務比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

貸借対照表(千円・%)

区分	決算額
資産合計	33,832,932
1 固定資産	17,086,175
(1) 有形固定資産	16,101,291
(2) 無形固定資産	221,702
(3) 投資その他の資産	763,182
2 流動資産	16,746,757
(1) 現金及び預金	11,948,770
(2) 未収金及び未収収益	4,497,421
(3) 貸倒引当金()	30,193
(4) 貯蔵品	330,759
3 繰延資産	-
負債合計	21,883,373
1 固定負債	13,133,543
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	5,968,987
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	4,500,000
(6) 引当金	1,694,086
(7) リース債務	970,470
2 流動負債	5,287,800
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,129,677
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	100,000
(5) 引当金	688,532
(6) リース債務	283,217
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	3,008,415
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	3,462,030
(1) 長期前受金	16,751,771
(2) 長期前受金収益化累計額()	13,289,741
資本合計	11,949,559
1 資本	7,645,819
2 剰余金	4,303,740
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	4,303,740
負債・資本合計	33,832,932
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)	-
備考	当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額

病院事業決算状況(令和2年度)

都道府県名
青森県

市町村・組合名
青森市

病院名
青森市民病院

施設及び業務概況等

法適用区分
当然財務
特殊診療機能
ド透・未訓練

病院区分
一般病院
不採算地区病院
非該当

建物面積
36,310 m²
不採算地区中核病院
非該当

診療科数
20
指定病院の状況
救臨
災地輪

許可公営企業
許可
看護配置
7:1

DPC対象病院
対象
経営形態
直営

類似区分
400床以上~500床未満

特殊診療機能欄
ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄
救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...べき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	459	56.7	67.9	61.2
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	459	56.7	67.9	61.2
平均在院日数(一般病床のみ)		14.2	13.5	12.8

損益計算書(千円・%)

区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	10,647,802			
1 経常収益	10,372,581			
(1) 医業収益	8,082,333			
入院収益	5,546,922			
外来収益	2,099,364			
診療収入計	7,646,286			
その他医業収益	436,047			
(うち他会計負担金)	278,402			
(2) 医業外収益	2,290,248			
(うち国・都道府県補助金)	1,392,380			
(うち他会計補助・負担金)	465,129			
(うち長期前受金戻入)	375,858			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	275,221			
(うち他会計繰入金)	96,364			
総費用	10,562,480			
2 経常費用	10,392,690			
(1) 医業費用	9,896,629			
職員給与費	5,118,457	63.3	62.1	59.8
材料費	2,168,141	26.8	25.3	27.7
(うち薬品費)	936,595	11.6	13.5	14.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,231,482	15.2	11.4	12.4
減価償却費	861,874	10.7	9.5	8.2
経費	1,699,109	21.0	22.7	19.2
(うち委託料)	1,030,850	12.8	12.6	10.2
研究研修費	32,196			
資産減耗費	16,852			
(2) 医業外費用	496,061			
(うち支払利息)	1,469	-	1.3	1.2
(3) 特別損失	169,790			
損益	経常損益 純損益	-20,109 85,322		
累積欠損金	5,583,933			
経常収支比率	99.8		101.9	103.7
医業収支比率	81.7		83.2	86.6
他会計繰入金対経常収益比率	7.2		12.3	10.2
他会計繰入金対医業収益比率	9.2		16.0	12.9
他会計繰入金対総収益比率	7.9		12.2	10.1
実質収益対経常費用比率	92.7		89.3	93.1

備考:
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

設立団体の状況	
人口(人)	275,192
決算規模(千円)	155,973,757
標準財政規模(千円)	67,915,309
財政力指数	0.56
経常収支比率(%)	92.2
健全化実質赤字比率(%)	-
連結実質赤字比率(%)	-
実質公債費比率(%)	14.2
将来負担比率(%)	89.3

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	78.9
修正医業収益(千円)	7,803,931

他会計からの繰入状況(千円)	
区分	基準額
収益勘定繰入	743,531
資本勘定繰入	362,451
計	1,105,982
実繰入額	839,895
362,451	1,202,346

不良債務額・不良債務比率の過去3カ年推移	
年度	不良債務額(千円)
令和2年度	1,480,819
令和元年度	1,665,807
平成30年度	1,817,832
不良債務比率(%)	17.2
17.4	19.1

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	76.8
健全化法上の資金不足額(千円)	1,013,218
健全化法上の資金不足比率(%)	11.7
地財法上の資金不足額(千円)	1,480,818
地財法上の資金不足比率(%)	17.2

備考:
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうちの他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

備考:
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

病院事業決算状況(令和2年度)

都道府県名
青森県

市町村・組合名
青森市

病院名
浪岡病院

施設及び業務概況等

法適用区分	当然財務	特殊診療機能	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当
建物面積	6,070 m ²	不採算地区中核病院	
診療科数	7	指定病院の状況	救
許可公営企業	許可	看護配置	10:1
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	50床未満

損益計算書

区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	855,767			
1 経常収益	644,456			
(1) 医業収益	507,315			
入院収益	148,525			
外来収益	182,605			
診療収入計	331,130			
その他医業収益	176,185			
(うち他会計負担金)	156,664			
(2) 医業外収益	137,141			
(うち国・都道府県補助金)	30,724			
(うち他会計補助・負担金)	82,713			
(うち長期前受金戻入)	18,853			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	211,311			
(うち他会計繰入金)	203,636			
総費用	937,837			
2 経常費用	929,508			
(1) 医業費用	891,793			
職員給与費	521,040	102.7	62.1	89.0
材料費	65,217	12.9	25.3	14.0
(うち薬品費)	27,682	5.5	13.5	7.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	37,289	7.4	11.4	5.4
減価償却費	32,394	6.4	9.5	13.0
経費	271,837	53.6	22.7	47.1
(うち委託料)	140,807	27.8	12.6	22.5
研究研修費	696			
資産減耗費	609			
(2) 医業外費用	37,715			
(うち支払利息)	1,600	0.3	1.3	1.3
(3) 特別損失	8,329			
損益	経常損益	-285,052		
	純損益	-82,070		
累積欠損金	1,016,867			
経常収支比率	69.3		101.9	98.5
医業収支比率	56.9		83.2	61.0
他会計繰入金対経常収益比率	37.1		12.3	34.7
他会計繰入金対医業収益比率	47.2		16.0	60.0
他会計繰入金対総収益比率	51.8		12.2	34.9
実質収益対経常費用比率	43.6		89.3	64.4

備考:
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

特殊診療機能欄
ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...べき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	35	38.3	58.2	25.6
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	35	38.3	58.2	13.9
平均在院日数(一般病床のみ)		16.3	16.7	13.8

設立団体の状況	
人口(人)	275,192
決算規模(千円)	155,973,757
標準財政規模(千円)	67,915,309
財政力指数	0.56
経常収支比率(%)	92.2
健全化実質赤字比率(%)	-
連結実質赤字比率(%)	-
実質公債費比率(%)	14.2
将来負担比率(%)	89.3

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	39.3
修正医業収益(千円)	350,651

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	239,377	443,013
資本勘定繰入	12,836	15,438
計	252,213	458,451

不良債務額・不良債務比率の過去3カ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	1,480,819	17.2
令和元年度	1,665,807	17.4
平成30年度	1,817,832	19.1

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	76.8
健全化法上の資金不足額(千円)	1,013,218
健全化法上の資金不足比率(%)	11.7
地財法上の資金不足額(千円)	1,480,818
地財法上の資金不足比率(%)	17.2

備考:

・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうちの他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。

・「不良債務額」、「不良債務比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

貸借対照表

区分	決算額
資産合計	11,488,674
1 固定資産	8,930,496
(1) 有形固定資産	8,374,785
(2) 無形固定資産	361
(3) 投資その他の資産	555,350
2 流動資産	2,558,178
(1) 現金及び預金	741,680
(2) 未収金及び未収収益	1,739,774
(3) 貸倒引当金()	15,859
(4) 貯蔵品	92,583
3 繰延資産	-
負債合計	12,042,246
1 固定負債	7,368,686
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,036,899
(2) その他の企業債	436,861
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	739,430
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	3,155,496
(7) リース債務	-
2 流動負債	4,429,932
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	827,797
(2) その他の企業債	30,739
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	344,368
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	1,750,000
(8) 未払金及び未払費用	1,401,143
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	243,628
(1) 長期前受金	3,500,250
(2) 長期前受金収益化累計額()	3,256,622
資本合計	-553,572
1 資本	6,022,240
2 剰余金	-6,575,812
(1) 資本	24,988
(2) 利益	-6,600,800
負債・資本合計	11,488,674
不良債務	1,480,819
実質資金不足額	1,480,819
資本不足額(繰延収益控除後)	553,572
資本不足額()	309,944
備考	当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である

病院事業決算状況(令和2年度)

都道府県名
青森県

市町村・組合名
弘前市

病院名
市立病院

施設及び業務概況等

法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド・I・訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	13,131 m ²	不採算地区中核病院	非該当
診療科数	12	指定病院の状況	救臨 災 輪
許可公営企業		看護配置	10:1
DPC対象病院	対象	経営形態	直営
		類似区分	200床以上~300床未満

損益計算書

区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	3,603,236			
1 経常収益	3,534,230			
(1) 医業収益	1,933,672			
入院収益	938,773			
外来収益	792,256			
診療収入計	1,731,029			
その他医業収益	202,643			
(うち他会計負担金)	161,926			
(2) 医業外収益	1,600,558			
(うち国・都道府県補助金)	225,777			
(うち他会計補助・負担金)	1,359,481			
(うち長期前受金戻入)	3,796			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	69,006			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	3,141,295			
2 経常費用	3,072,961			
(1) 医業費用	2,937,987			
職員給与費	1,575,747	81.5	62.1	66.1
材料費	534,710	27.7	25.3	19.8
(うち薬品費)	363,568	18.8	13.5	10.0
(うち薬品費以外の医薬材料費)	171,142	8.9	11.4	9.3
減価償却費	161,859	8.4	9.5	10.2
経費	658,936	34.1	22.7	28.2
(うち委託料)	399,555	20.7	12.6	13.6
研究研修費	5,599			
資産減耗費	1,136			
(2) 医業外費用	134,974			
(うち支払利息)	17,516	0.9	1.3	1.6
(3) 特別損失	68,334			
損益	461,269			
経常損益	461,941			
累積欠損金	3,151,573			
経常収支比率	115.0		101.9	99.9
医業収支比率	65.8		83.2	80.1
他会計繰入金対経常収益比率	43.0		12.3	13.3
他会計繰入金対医業収益比率	78.7		16.0	17.7
他会計繰入金対総収益比率	42.2		12.2	13.3
実質収益対経常費用比率	65.5		89.3	86.6

備考:
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

特殊診療機能欄
ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...べき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	250	27.8	31.8	41.5
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	250	27.8	31.8	41.5
平均在院日数(一般病床のみ)		17.8	17.0	17.9

設立団体の状況	
人口(人)	168,466
決算規模(千円)	96,914,794
標準財政規模(千円)	42,413,169
財政力指数	0.50
経常収支比率(%)	96.6
健全化実質赤字比率(%)	-
連結実質赤字比率(%)	-
実質公債費比率(%)	6.4
将来負担比率(%)	48.6

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	60.3
修正医業収益(千円)	1,771,746

他会計からの繰入状況(千円)	
区分	基準額
収益勘定繰入	484,089
資本勘定繰入	126,261
計	610,350
実繰入額	1,521,407
223,294	
1,744,701	

不良債務額・不良債務比率の過去3カ年推移	
年度	不良債務額(千円)
令和2年度	-
令和元年度	213,490
平成30年度	263,632
不良債務比率(%)	10.0
10.0	

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	163.0
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

- 備考:
- 修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうちの他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 - 「不良債務額」、「不良債務比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 - 設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)

都道府県名
青森県

市町村・組合名
八戸市

病院名
八戸市民病院

施設及び業務概況等

法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透 未 訓 力
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	49,124 m ²	不採算地区中核病院	非該当
診療科数	26	指定病院の状況	救臨 が 感 災 地 特 輪
許可公営企業		看護配置	7 : 1
DPC対象病院	対象	経営形態	直営
		類似区分	500床以上

損益計算書

区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	21,969,550			
1 経常収益	21,720,349			
(1) 医業収益	17,931,904			
入院収益	12,765,611			
外来収益	4,263,116			
診療収入計	17,028,727			
その他医業収益	903,177			
(うち他会計負担金)	301,958			
(2) 医業外収益	3,788,445			
(うち国・都道府県補助金)	1,998,082			
(うち他会計補助・負担金)	1,203,609			
(うち長期前受金戻入)	286,065			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	249,201			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	20,624,570			
2 経常費用	20,117,347			
(1) 医業費用	18,821,695			
職員給与費	9,192,838	51.3	62.1	55.8
材料費	5,100,582	28.4	25.3	29.8
(うち薬品費)	2,358,039	13.1	13.5	16.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	2,742,543	15.3	11.4	13.0
減価償却費	999,900	5.6	9.5	8.7
経費	3,449,779	19.2	22.7	19.7
(うち委託料)	1,949,615	10.9	12.6	12.6
研究研修費	62,431			
資産減耗費	16,165			
(2) 医業外費用	1,295,652			
(うち支払利息)	256,195	1.4	1.3	1.2
(3) 特別損失	507,223			
損益	経常損益	1,603,002		
純損益	1,344,980			
累積欠損金	-			
経常収支比率	108.0		101.9	102.5
医業収支比率	95.3		83.2	87.1
他会計繰入金対経常収益比率	6.9		12.3	9.1
他会計繰入金対医業収益比率	8.4		16.0	11.4
他会計繰入金対総収益比率	6.9		12.2	8.9
実質収益対経常費用比率	100.5		89.3	93.2

備考:
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

特殊診療機能欄
ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...べき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	572	80.5	89.3	90.1
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	50	46.7	56.6	60.5
感染症	6	4.8	2.0	-
計	628	77.1	85.7	86.8
平均在院日数(一般病床のみ)		13.8	14.0	13.8

設立団体の状況	
人口(人)	223,415
決算規模(千円)	134,893,492
標準財政規模(千円)	52,691,000
財政力指数	0.67
経常収支比率(%)	91.9
健全化実質赤字比率(%)	-
連結実質赤字比率(%)	-
実質公債費比率(%)	9.5
将来負担比率(%)	126.0

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	93.7
修正医業収益(千円)	17,629,946

他会計からの繰入状況(千円)	
区分	基準額
収益勘定繰入	1,467,757
資本勘定繰入	961,954
計	2,429,711
実繰入額	1,505,567
963,164	
2,468,731	

不良債務額・不良債務比率の過去3カ年推移	
年度	不良債務額(千円)
令和2年度	-
令和元年度	-
平成30年度	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうちの他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)

都道府県名
青森県

市町村・組合名 黒石市

病院名 国保黒石病院

施設及び業務概況等

法適用区分 条例全部 特殊診療機能 ド 訓 ガ

病院区分 一般病院 不採算地区病院

建物面積 16,150 m² 不採算地区中核病院 第2種該当

診療科数 17 指定病院の状況 救急 災

許可公営企業 許可 看護配置 7:1

DPC対象病院 対象 経営形態 直営

類似区分 200床以上~300床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...べき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	257	67.6	71.1	69.3
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	257	67.6	71.1	69.3
平均在院日数(一般病床のみ)		19.5	19.8	19.4

損益計算書(千円・%)

区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	4,453,786			
1 経常収益	4,335,084			
(1) 医業収益	3,807,246			
入院収益	2,756,802			
外来収益	959,969			
診療収入計	3,716,771			
その他医業収益	90,475			
(うち他会計負担金)	23,049			
(2) 医業外収益	527,838			
(うち国・都道府県補助金)	132,812			
(うち他会計補助・負担金)	198,613			
(うち長期前受金戻入)	177,180			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	118,702			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	4,504,716			
2 経常費用	4,386,112			
(1) 医業費用	4,201,596			
職員給与費	2,197,377	57.7	62.1	66.1
材料費	605,145	15.9	25.3	19.8
(うち薬品費)	345,691	9.1	13.5	10.0
(うち薬品費以外の医薬材料費)	257,097	6.8	11.4	9.3
減価償却費	192,802	5.1	9.5	10.2
経費	1,198,501	31.5	22.7	28.2
(うち委託料)	433,194	11.4	12.6	13.6
研究研修費	4,864			
資産減耗費	2,907			
(2) 医業外費用	184,516			
(うち支払利息)	15,508	0.4	1.3	1.6
(3) 特別損失	118,604			
損益 経常損益	-51,028			
純損益	-50,930			
累積欠損金	3,912,350			
経常収支比率	98.8		101.9	99.9
医業収支比率	90.6		83.2	80.1
他会計繰入金対経常収益比率	5.1		12.3	13.3
他会計繰入金対医業収益比率	5.8		16.0	17.7
他会計繰入金対総収益比率	5.0		12.2	13.3
実質収益対経常費用比率	93.8		89.3	86.6

備考:
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

設立団体の状況	
人口(人)	31,946
決算規模(千円)	20,146,937
標準財政規模(千円)	9,024,919
財政力指数	0.37
経常収支比率(%)	90.4
健全化実質赤字比率(%)	-
連結実質赤字比率(%)	-
実質公債費比率(%)	15.6
将来負担比率(%)	51.2

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	90.1
修正医業収益(千円)	3,784,197

他会計からの繰入状況(千円)	
区分	基準額
収益勘定繰入	396,234
資本勘定繰入	251,387
計	647,621
実績額	221,662
資本勘定繰入	251,387
計	473,049

不良債務額・不良債務比率の過去3カ年推移	
年度	不良債務額(千円)
令和2年度	558,240
令和元年度	686,204
平成30年度	625,685
不良債務比率(%)	14.7
17.3	
15.6	

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	102.8
健全化法上の資金不足額(千円)	351,885
健全化法上の資金不足比率(%)	9.2
地財法上の資金不足額(千円)	851,740
地財法上の資金不足比率(%)	22.3

備考:

- 修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうちの他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
- 「不良債務額」、「不良債務比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
- 設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)

都道府県名
青森県

市町村・組合名
十和田市

病院名
中央病院

施設及び業務概況等

法適用区分
条例全部

特殊診療機能

ド透訓練

病院区分
一般病院

不採算地区病院

建物面積
38,172 m²

不採算地区中核病院

第2種該当

診療科数
18

指定病院の状況

救臨感災地輪

許可公営企業

看護配置

7:1

DPC対象病院
対象

経営形態

直営

類似区分
300床以上~400床未満

特殊診療機能欄
ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄
救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...べき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	315	69.3	75.9	81.1
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	50	39.3	50.2	55.9
感染症	4	14.5	-	-
計	369	64.7	71.7	76.9
平均在院日数(一般病床のみ)		13.3	13.1	13.4

損益計算書(千円・%)

区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	8,733,780			
1 経常収益	8,485,762			
(1) 医業収益	7,242,836			
入院収益	4,720,357			
外来収益	2,064,516			
診療収入計	6,784,873			
その他医業収益	457,963			
(うち他会計負担金)	245,138			
(2) 医業外収益	1,242,926			
(うち国・都道府県補助金)	645,252			
(うち他会計補助・負担金)	480,503			
(うち長期前受金戻入)	19,880			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	248,018			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	8,964,379			
2 経常費用	8,807,980			
(1) 医業費用	8,280,313			
職員給与費	4,237,772	58.5	62.1	63.5
材料費	1,480,340	20.4	25.3	24.9
(うち薬品費)	872,334	12.0	13.5	12.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	552,264	7.6	11.4	11.8
減価償却費	775,599	10.7	9.5	10.0
経費	1,756,647	24.3	22.7	21.7
(うち委託料)	853,655	11.8	12.6	12.2
研究研修費	19,622			
資産減耗費	10,333			
(2) 医業外費用	527,667			
(うち支払利息)	214,207	3.0	1.3	1.4
(3) 特別損失	156,399			
損益 経常損益	-322,218			
純損益	-230,599			
累積欠損金	13,241,984			
経常収支比率	96.3		101.9	101.7
医業収支比率	87.5		83.2	82.8
他会計繰入金対経常収益比率	8.6		12.3	11.5
他会計繰入金対医業収益比率	10.0		16.0	15.0
他会計繰入金対総収益比率	8.3		12.2	11.3
実質収益対経常費用比率	88.1		89.3	90.0

備考:

「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

設立団体の状況	
人口(人)	60,378
決算規模(千円)	43,077,213
標準財政規模(千円)	18,234,083
財政力指数	0.44
経常収支比率(%)	90.3
健全化実質赤字比率(%)	-
連結実質赤字比率(%)	-
実質公債費比率(%)	8.2
将来負担比率(%)	11.6

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	84.5
修正医業収益(千円)	6,997,698

他会計からの繰入状況(千円)	
区分	基準額
収益勘定繰入	784,300
資本勘定繰入	383,563
計	1,167,863
実繰入額	725,641
512,976	1,238,617

不良債務額・不良債務比率の過去3カ年推移	
年度	不良債務額(千円)
令和2年度	-
令和元年度	191,016
平成30年度	123,667
不良債務比率(%)	2.5
1.6	

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	182.8
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうちの他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)

都道府県名
青森県

市町村・組合名
三沢市

病院名
市立病院

施設及び業務概況等

法適用区分
条例全部

特殊診療機能

ド透未訓練

病院区分
一般病院

不採算地区病院

非該当

建物面積
19,700 m²

不採算地区中核病院

非該当

診療科数
18

指定病院の状況

救臨輪

許可公営企業

看護配置

10:1

DPC対象病院
-

経営形態

直営

類似区分
200床以上~300床未満

特殊診療機能欄
ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄
救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...べき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	220	67.9	75.8	77.8
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	220	67.9	75.8	77.8
平均在院日数(一般病床のみ)		13.9	14.6	15.0

損益計算書(千円・%)

区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	6,501,468			
1 経常収益	6,135,175			
(1) 医業収益	4,610,434			
入院収益	2,494,360			
外来収益	1,798,621			
診療収入計	4,292,981			
その他医業収益	317,453			
(うち他会計負担金)	103,455			
(2) 医業外収益	1,524,741			
(うち国・都道府県補助金)	723,729			
(うち他会計補助・負担金)	498,825			
(うち長期前受金戻入)	251,083			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	366,293			
(うち他会計繰入金)	160,000			
総費用	6,321,054			
2 経常費用	6,192,984			
(1) 医業費用	5,814,673			
職員給与費	2,453,116	53.2	62.1	66.1
材料費	1,380,188	29.9	25.3	19.8
(うち薬品費)	822,622	17.8	13.5	10.0
(うち薬品費以外の医薬材料費)	557,566	12.1	11.4	9.3
減価償却費	543,063	11.8	9.5	10.2
経費	1,424,564	30.9	22.7	28.2
(うち委託料)	763,964	16.6	12.6	13.6
研究研修費	9,276			
資産減耗費	4,466			
(2) 医業外費用	378,311			
(うち支払利息)	94,383	2.0	1.3	1.6
(3) 特別損失	128,070			
損益経常損益	-57,809			
純損益	180,414			
累積欠損金	6,317,834			
経常収支比率	99.1		101.9	99.9
医業収支比率	79.3		83.2	80.1
他会計繰入金対経常収益比率	9.8		12.3	13.3
他会計繰入金対医業収益比率	13.1		16.0	17.7
他会計繰入金対総収益比率	11.7		12.2	13.3
実質収益対経常費用比率	89.3		89.3	86.6

備考:
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

設立団体の状況	
人口(人)	39,152
決算規模(千円)	27,135,181
標準財政規模(千円)	10,627,700
財政力指数	0.52
経常収支比率(%)	91.0
健全化実質赤字比率(%)	-
連結実質赤字比率(%)	-
実質公債費比率(%)	10.0
将来負担比率(%)	59.4

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	77.5
修正医業収益(千円)	4,506,979

他会計からの繰入状況(千円)	
区分	基準額
収益勘定繰入	602,280
資本勘定繰入	164,626
計	766,906
実績額	762,280
資本額	164,626
繰入額	926,906

不良債務額・不良債務比率の過去3カ年推移	
年度	不良債務額(千円)
令和2年度	356,095
令和元年度	614,887
平成30年度	376,895
不良債務比率(%)	7.7
12.9	
7.9	

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	137.0
健全化法上の資金不足額(千円)	356,095
健全化法上の資金不足比率(%)	7.7
地財法上の資金不足額(千円)	356,095
地財法上の資金不足比率(%)	7.7

- 備考:
- 修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうちの他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 - 「不良債務額」、「不良債務比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 - 設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)

都道府県名
青森県

市町村・組合名
平内町

病院名
国保平内中央病院

施設及び業務概況等

法適用区分	条例全部	特殊診療機能	訓練
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当
建物面積	6,364 m ²	不採算地区中核病院	
診療科数	11	指定病院の状況	救
許可公営企業		看護配置	10:1
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	50床以上~100床未満

損益計算書

区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,525,926			
1 経常収益	1,517,676			
(1) 医業収益	1,174,154			
入院収益	843,150			
外来収益	221,970			
診療収入計	1,065,120			
その他医業収益	109,034			
(うち他会計負担金)	85,446			
(2) 医業外収益	343,522			
(うち国・都道府県補助金)	38,933			
(うち他会計補助・負担金)	242,343			
(うち長期前受金戻入)	58,302			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	8,250			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,476,669			
2 経常費用	1,468,419			
(1) 医業費用	1,393,256			
職員給与費	849,187	72.3	62.1	78.9
材料費	117,633	10.0	25.3	15.6
(うち薬品費)	49,981	4.3	13.5	8.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	46,898	4.0	11.4	6.0
減価償却費	89,408	7.6	9.5	11.7
経費	333,437	28.4	22.7	31.2
(うち委託料)	126,060	10.7	12.6	14.3
研究研修費	3,028			
資産減耗費	563			
(2) 医業外費用	75,163			
(うち支払利息)	33,589	2.9	1.3	1.7
(3) 特別損失	8,250			
損益	49,257			
経常損益	49,257			
純損益	49,257			
累積欠損金	1,241,458			
経常収支比率	103.4		101.9	100.3
医業収支比率	84.3		83.2	72.4
他会計繰入金対経常収益比率	21.6		12.3	23.6
他会計繰入金対医業収益比率	27.9		16.0	35.0
他会計繰入金対総収益比率	21.5		12.2	23.4
実質収益対経常費用比率	81.0		89.3	76.7

備考:
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

特殊診療機能欄
ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...べき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	48	83.1	80.0	86.7
療養	48	80.7	87.4	84.6
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	96	81.9	83.7	85.6
平均在院日数(一般病床のみ)		10.0	10.7	10.4

設立団体の状況	
人口(人)	10,126
決算規模(千円)	9,242,859
標準財政規模(千円)	4,211,567
財政力指数	0.27
経常収支比率(%)	82.2
健全化実質赤字比率(%)	-
連結実質赤字比率(%)	-
実質公債費比率(%)	9.8
将来負担比率(%)	84.1

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	78.1
修正医業収益(千円)	1,088,708

他会計からの繰入状況(千円)	
区分	基準額
収益勘定繰入	327,789
資本勘定繰入	142,166
計	469,955
実績額	327,789
資本額	143,966
計	471,755

不良債務額・不良債務比率の過去3カ年推移	
年度	不良債務額(千円)
令和2年度	-
令和元年度	-
平成30年度	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	105.7
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうちの他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)

都道府県名
青森県

市町村・組合名
外ヶ浜町

病院名
外ヶ浜中央病院

施設及び業務概況等

法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当
建物面積	2,710 m ²	不採算地区中核病院	
診療科数	5	指定病院の状況	救臨ヘ
許可公営企業		看護配置	15:1
DPC対象病院	-	経営形態	直営
	類似区分	50床未満	

損益計算書

区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,110,879			
1 経常収益	1,105,077			
(1) 医業収益	531,631			
入院収益	261,340			
外来収益	189,348			
診療収入計	450,688			
その他医業収益	80,943			
(うち他会計負担金)	44,400			
(2) 医業外収益	573,446			
(うち国・都道府県補助金)	9,205			
(うち他会計補助・負担金)	342,175			
(うち長期前受金戻入)	31,723			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	5,802			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,091,401			
2 経常費用	1,085,751			
(1) 医業費用	849,946			
職員給与費	560,162	105.4	62.1	89.0
材料費	103,614	19.5	25.3	14.0
(うち薬品費)	61,195	11.5	13.5	7.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	34,169	6.4	11.4	5.4
減価償却費	59,824	11.3	9.5	13.0
経費	125,036	23.5	22.7	47.1
(うち委託料)	92,507	17.4	12.6	22.5
研究研修費	558			
資産減耗費	752			
(2) 医業外費用	235,805			
(うち支払利息)	3,349	0.6	1.3	1.3
(3) 特別損失	5,650			
損益	19,326			
経常損益	19,326			
純損益	19,478			
累積欠損金	-			
経常収支比率	101.8		101.9	98.5
医業収支比率	62.5		83.2	61.0
他会計繰入金対経常収益比率	35.0		12.3	34.7
他会計繰入金対医業収益比率	72.7		16.0	60.0
他会計繰入金対総収益比率	34.8		12.2	34.9
実質収益対経常費用比率	66.2		89.3	64.4

備考:
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

特殊診療機能欄
ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	44	71.8	85.3	80.8
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	44	71.8	85.3	80.8
平均在院日数(一般病床のみ)		25.9	26.4	26.2

設立団体の状況	
人口(人)	5,401
決算規模(千円)	6,863,848
標準財政規模(千円)	3,872,450
財政力指数	0.19
経常収支比率(%)	96.9
健全化実質赤字比率(%)	-
連結実質赤字比率(%)	-
実質公債費比率(%)	10.9
将来負担比率(%)	43.2

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	57.3
修正医業収益(千円)	487,231

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	360,007	386,575
資本勘定繰入	18,532	59,464
計	378,539	446,039

不良債務額・不良債務比率の過去3カ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうちの他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)

都道府県名
青森県

市町村・組合名
大鰐町

病院名
町立大鰐病院

施設及び業務概況等

法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド 訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当
建物面積	5,118 m ²	不採算地区中核病院	
診療科数	5	指定病院の状況	救
許可公営企業		看護配置	13:1
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	50床未満

損益計算書

区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	658,399			
1 経常収益	655,549			
(1) 医業収益	354,187			
入院収益	140,377			
外来収益	148,463			
診療収入計	288,840			
その他医業収益	65,347			
(うち他会計負担金)	41,385			
(2) 医業外収益	301,362			
(うち国・都道府県補助金)	2,620			
(うち他会計補助・負担金)	296,088			
(うち長期前受金戻入)	2,081			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	2,850			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	680,407			
2 経常費用	677,557			
(1) 医業費用	676,467			
職員給与費	386,090	109.0	62.1	89.0
材料費	63,306	17.9	25.3	14.0
(うち薬品費)	31,194	8.8	13.5	7.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	32,112	9.1	11.4	5.4
減価償却費	29,902	8.4	9.5	13.0
経費	197,009	55.6	22.7	47.1
(うち委託料)	90,238	25.5	12.6	22.5
研究研修費	160			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	1,090			
(うち支払利息)	552	0.2	1.3	1.3
(3) 特別損失	2,850			
損益	経常損益	-22,008		
純損益	-22,008			
累積欠損金	1,422,510			
経常収支比率	96.8		101.9	98.5
医業収支比率	52.4		83.2	61.0
他会計繰入金対経常収益比率	51.5		12.3	34.7
他会計繰入金対医業収益比率	95.3		16.0	60.0
他会計繰入金対総収益比率	51.3		12.2	34.9
実質収益対経常費用比率	46.9		89.3	64.4

備考:
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

特殊診療機能欄
ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...べき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	30	49.0	61.0	68.5
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	30	49.0	61.0	68.5
平均在院日数(一般病床のみ)		18.7	19.4	19.3

設立団体の状況	
人口(人)	8,665
決算規模(千円)	6,469,371
標準財政規模(千円)	3,653,910
財政力指数	0.23
経常収支比率(%)	94.6
健全化実質赤字比率(%)	-
連結実質赤字比率(%)	-
実質公債費比率(%)	15.1
将来負担比率(%)	118.0

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	46.2
修正医業収益(千円)	312,802

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	337,473	337,473
資本勘定繰入	3,302	3,302
計	340,775	340,775

不良債務額・不良債務比率の過去3カ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	495	0.1
平成30年度	12,159	2.8

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	401.6
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:

・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうちの他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。

・「不良債務額」、「不良債務比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

貸借対照表	
区分	決算額
資産合計	219,627
1 固定資産	145,725
(1) 有形固定資産	125,067
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	20,658
2 流動資産	73,902
(1) 現金及び預金	4,351
(2) 未収金及び未収収益	55,290
(3) 貸倒引当金()	98
(4) 貯蔵品	14,163
3 繰延資産	-
負債合計	380,668
1 固定負債	302,732
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	32,665
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	270,067
(7) リース債務	-
2 流動負債	75,241
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	5,059
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	19,802
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	24,000
(8) 未払金及び未払費用	26,380
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	2,695
(1) 長期前受金	12,567
(2) 長期前受金収益化累計額()	9,872
資本合計	-161,041
1 資本	1,244,776
2 剰余金	-1,405,817
(1) 資本	16,693
(2) 利益	-1,422,510
負債・資本合計	219,627
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)	158,346
備考	

病院事業決算状況(令和2年度)

都道府県名
青森県

市町村・組合名
板柳町

病院名
国保板柳中央病院

施設及び業務概況等

法適用区分	当然財務	特殊診療機能	訓練
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当
建物面積	5,825 m ²	不採算地区中核病院	
診療科数	5	指定病院の状況	救
許可公営企業		看護配置	10:1
DPC対象病院	-	経営形態	直営
	類似区分	50床以上~100床未満	

損益計算書

区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,091,323			
1 経常収益	996,371			
(1) 医業収益	806,525			
入院収益	510,549			
外来収益	227,598			
診療収入計	738,147			
その他医業収益	68,378			
(うち他会計負担金)	59,217			
(2) 医業外収益	189,846			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	122,267			
(うち長期前受金戻入)	10,586			
(うち資本費繰入収益)	52,303			
(3) 特別利益	94,952			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	966,893			
2 経常費用	966,893			
(1) 医業費用	910,388			
職員給与費	460,532	57.1	62.1	78.9
材料費	84,220	10.4	25.3	15.6
(うち薬品費)	29,526	3.7	13.5	8.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	52,355	6.5	11.4	6.0
減価償却費	81,611	10.1	9.5	11.7
経費	282,342	35.0	22.7	31.2
(うち委託料)	96,524	12.0	12.6	14.3
研究研修費	1,419			
資産減耗費	264			
(2) 医業外費用	56,505			
(うち支払利息)	23,533	2.9	1.3	1.7
(3) 特別損失	-			
損益	経常損益	29,478		
純損益	124,430			
累積欠損金	-			
経常収支比率	103.0		101.9	100.3
医業収支比率	88.6		83.2	72.4
他会計繰入金対経常収益比率	18.2		12.3	23.6
他会計繰入金対医業収益比率	22.5		16.0	35.0
他会計繰入金対総収益比率	16.6		12.2	23.4
実質収益対経常費用比率	84.3		89.3	76.7

備考:
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

特殊診療機能欄
ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...べき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	48	67.9	76.4	72.5
療養	32	78.2	86.3	89.2
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	80	72.0	80.4	78.9
平均在院日数(一般病床のみ)	23.8	24.0	25.4	

設立団体の状況	
人口(人)	12,700
決算規模(千円)	8,595,090
標準財政規模(千円)	4,076,799
財政力指数	0.28
経常収支比率(%)	90.7
健全化実質赤字比率(%)	-
連結実質赤字比率(%)	-
実質公債費比率(%)	9.2
将来負担比率(%)	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	82.1
修正医業収益(千円)	747,308

他会計からの繰入状況(千円)	
区分	基準額
収益勘定繰入	181,484
資本勘定繰入	115,833
計	297,317
実績額	181,484
資本額	115,720
計	297,204

不良債務額・不良債務比率の過去3カ年推移	
年度	不良債務額(千円)
令和2年度	-
令和元年度	-
平成30年度	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうちの他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)

都道府県名
青森県

市町村・組合名
六戸町

病院名
国保病院

施設及び業務概況等

法適用区分	特殊診療機能
病院区分	不採算地区病院
建物面積	- m ²
診療科数	- 指定病院の状況
許可公営企業	看護配置
DPC対象病院	経営形態 直営
類似区分	50床未満

損益計算書 (千円・%)

区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,139			
1 経常収益	1,139			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	1,139			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	1,139			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,139			
2 経常費用	1,139			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	62.1	89.0	
材料費	-	25.3	14.0	
(うち薬品費)	-	13.5	7.9	
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	11.4	5.4	
減価償却費	-	9.5	13.0	
経費	-	22.7	47.1	
(うち委託料)	-	12.6	22.5	
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	1,139			
(うち支払利息)	1,139	-	1.3	1.3
(3) 特別損失	-			
損益 経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0	101.9	98.5	
医業収支比率	-	83.2	61.0	
他会計繰入金対経常収益比率	100.0	12.3	34.7	
他会計繰入金対医業収益比率	-	16.0	60.0	
他会計繰入金対総収益比率	100.0	12.2	34.9	
実質収益対経常費用比率	-	89.3	64.4	

備考:
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

特殊診療機能欄
ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)	-	-	-	-

設立団体の状況	
人口(人)	10,447
決算規模(千円)	7,173,147
標準財政規模(千円)	3,732,446
財政力指数	0.43
経常収支比率(%)	88.0
健全化実質赤字比率(%)	-
連結実質赤字比率(%)	-
実質公債費比率(%)	8.6
将来負担比率(%)	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収益(千円)	-

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	569	1,139
資本勘定繰入	3,931	7,861
計	4,500	9,000

不良債務額・不良債務比率の過去3カ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうちの他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)

都道府県名
青森県

市町村・組合名
おいらせ町

病院名
国民健康保険おいらせ病院

施設及び業務概況等

法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド 訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当
建物面積	3,817 m ²	不採算地区中核病院	
診療科数	7	指定病院の状況	救
許可公営企業		看護配置	10:1
DPC対象病院	-	経営形態	直営
	類似区分	50床以上~100床未満	

特殊診療機能欄
ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄
救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...べき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	78	63.6	66.5	66.9
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	78	63.6	66.5	66.9
平均在院日数(一般病床のみ)		23.4	22.4	22.5

損益計算書(千円・%)

区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	920,068			
1 経常収益	896,847			
(1) 医業収益	774,183			
入院収益	522,995			
外来収益	176,992			
診療収入計	699,987			
その他医業収益	74,196			
(うち他会計負担金)	40,843			
(2) 医業外収益	122,664			
(うち国・都道府県補助金)	14,093			
(うち他会計補助・負担金)	95,053			
(うち長期前受金戻入)	6,911			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	23,221			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	975,189			
2 経常費用	953,489			
(1) 医業費用	918,855			
職員給与費	539,879	69.7	62.1	78.9
材料費	90,151	11.6	25.3	15.6
(うち薬品費)	35,718	4.6	13.5	8.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	41,800	5.4	11.4	6.0
減価償却費	54,637	7.1	9.5	11.7
経費	232,578	30.0	22.7	31.2
(うち委託料)	121,809	15.7	12.6	14.3
研究研修費	1,244			
資産減耗費	366			
(2) 医業外費用	34,634			
(うち支払利息)	65	-	1.3	1.7
(3) 特別損失	21,700			
損益 経常損益	-56,642			
純損益	-55,121			
累積欠損金	143,882			
経常収支比率	94.1		101.9	100.3
医業収支比率	84.3		83.2	72.4
他会計繰入金対経常収益比率	15.2		12.3	23.6
他会計繰入金対医業収益比率	17.6		16.0	35.0
他会計繰入金対総収益比率	14.8		12.2	23.4
実質収益対経常費用比率	79.8		89.3	76.7

備考:
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

設立団体の状況	
人口(人)	24,273
決算規模(千円)	13,068,725
標準財政規模(千円)	6,675,407
財政力指数	0.47
経常収支比率(%)	95.3
健全化実質赤字比率(%)	-
連結実質赤字比率(%)	-
実質公債費比率(%)	11.1
将来負担比率(%)	4.0

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	79.8
修正医業収益(千円)	733,340

他会計からの繰入状況(千円)	
区分	基準額
収益勘定繰入	135,896
資本勘定繰入	19,605
計	155,501

不良債務額・不良債務比率の過去3カ年推移	
年度	不良債務額(千円)
令和2年度	-
令和元年度	-
平成30年度	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	18.6
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:

- 修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうちの他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
- 「不良債務額」、「不良債務比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
- 設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)

都道府県名
青森県

市町村・組合名
三戸町

病院名
国保三戸中央病院

施設及び業務概況等

法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当
建物面積	10,616 m ²	不採算地区中核病院	
診療科数	10	指定病院の状況	救へ
許可公営企業	許可	看護配置	10:1
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	50床以上~100床未満

特殊診療機能欄
ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...べき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	57	49.0	37.6	38.6
療養	39	78.1	87.2	88.9
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	96	59.6	51.2	52.4
平均在院日数(一般病床のみ)		17.6	17.6	13.9

損益計算書(千円・%)

区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,750,710			
1 経常収益	1,652,360			
(1) 医業収益	1,219,470			
入院収益	664,040			
外来収益	402,270			
診療収入計	1,066,310			
その他医業収益	153,160			
(うち他会計負担金)	108,516			
(2) 医業外収益	432,890			
(うち国・都道府県補助金)	17,114			
(うち他会計補助・負担金)	305,783			
(うち長期前受金戻入)	99,927			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	98,350			
(うち他会計繰入金)	59,614			
総費用	1,781,696			
2 経常費用	1,739,115			
(1) 医業費用	1,642,013			
職員給与費	941,140	77.2	62.1	78.9
材料費	125,157	10.3	25.3	15.6
(うち薬品費)	74,403	6.1	13.5	8.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	50,754	4.2	11.4	6.0
減価償却費	114,636	9.4	9.5	11.7
経費	446,478	36.6	22.7	31.2
(うち委託料)	155,894	12.8	12.6	14.3
研究研修費	2,952			
資産減耗費	11,650			
(2) 医業外費用	97,102			
(うち支払利息)	44,278	3.6	1.3	1.7
(3) 特別損失	42,581			
損益経常損益	-86,755			
純損益	-30,986			
累積欠損金	1,673,469			
経常収支比率	95.0		101.9	100.3
医業収支比率	74.3		83.2	72.4
他会計繰入金対経常収益比率	25.1		12.3	23.6
他会計繰入金対医業収益比率	34.0		16.0	35.0
他会計繰入金対総収益比率	27.1		12.2	23.4
実質収益対経常費用比率	71.2		89.3	76.7

備考:
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

設立団体の状況	
人口(人)	9,082
決算規模(千円)	7,791,937
標準財政規模(千円)	4,051,024
財政力指数	0.26
経常収支比率(%)	94.3
健全化実質赤字比率(%)	-
連結実質赤字比率(%)	-
実質公債費比率(%)	11.5
将来負担比率(%)	57.0

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	67.7
修正医業収益(千円)	1,110,954

他会計からの繰入状況(千円)	
区分	基準額
収益勘定繰入	414,290
資本勘定繰入	140,518
計	554,808
実績額	473,913
資本額	146,195
合計	620,108

不良債務額・不良債務比率の過去3カ年推移	
年度	不良債務額(千円)
令和2年度	312,661
令和元年度	339,350
平成30年度	293,781
不良債務比率(%)	25.6
26.2	
23.0	

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	137.2
健全化法上の資金不足額(千円)	73,976
健全化法上の資金不足比率(%)	6.0
地財法上の資金不足額(千円)	405,261
地財法上の資金不足比率(%)	33.2

備考:
 修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうちの他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 「不良債務額」、「不良債務比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)

都道府県名
青森県

市町村・組合名
五戸町

病院名
国保五戸総合病院

施設及び業務概況等

法適用区分	当然財務	特殊診療機能	訓練
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	12,530 m ²	不採算地区中核病院	非該当
診療科数	9	指定病院の状況	救
許可公営企業		看護配置	10:1
DPC対象病院	-	経営形態	直営
	類似区分	100床以上~200床未満	

特殊診療機能欄
ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...べき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	165	52.7	66.3	79.5
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	165	52.7	66.3	79.5
平均在院日数(一般病床のみ)		17.9	19.5	19.7

損益計算書(千円・%)

区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,574,333			
1 経常収益	2,149,250			
(1) 医業収益	1,868,561			
入院収益	1,066,611			
外来収益	441,070			
診療収入計	1,507,681			
その他医業収益	360,880			
(うち他会計負担金)	182,738			
(2) 医業外収益	280,689			
(うち国・都道府県補助金)	3,116			
(うち他会計補助・負担金)	261,090			
(うち長期前受金戻入)	11,908			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	425,083			
(うち他会計繰入金)	375,000			
総費用	2,559,867			
2 経常費用	2,504,086			
(1) 医業費用	2,344,284			
職員給与費	1,174,054	62.8	62.1	67.4
材料費	207,339	11.1	25.3	17.7
(うち薬品費)	111,471	6.0	13.5	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	93,586	5.0	11.4	8.8
減価償却費	190,428	10.2	9.5	10.7
経費	769,127	41.2	22.7	29.2
(うち委託料)	394,456	21.1	12.6	13.9
研究研修費	2,597			
資産減耗費	739			
(2) 医業外費用	159,802			
(うち支払利息)	78,045	4.2	1.3	1.5
(3) 特別損失	55,781			
損益経常損益	-354,836			
純損益	14,466			
累積欠損金	4,457,195			
経常収支比率	85.8		101.9	100.3
医業収支比率	79.7		83.2	79.7
他会計繰入金対経常収益比率	20.7		12.3	15.5
他会計繰入金対医業収益比率	23.8		16.0	20.8
他会計繰入金対総収益比率	31.8		12.2	15.6
実質収益対経常費用比率	68.1		89.3	84.8

備考:
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

設立団体の状況	
人口(人)	16,042
決算規模(千円)	11,210,103
標準財政規模(千円)	6,116,903
財政力指数	0.29
経常収支比率(%)	88.0
健全化実質赤字比率(%)	-
連結実質赤字比率(%)	-
実質公債費比率(%)	9.4
将来負担比率(%)	19.1

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	71.9
修正医業収益(千円)	1,685,823

他会計からの繰入状況(千円)	
区分	基準額
収益勘定繰入	443,828
資本勘定繰入	268,435
計	712,263
実績額	818,828
資本額	268,435
計	1,087,263

不良債務額・不良債務比率の過去3カ年推移	
年度	不良債務額(千円)
令和2年度	62,940
令和元年度	69,906
平成30年度	81,136
不良債務比率(%)	3.4
3.3	
3.4	

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	238.5
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	62,940
地財法上の資金不足比率(%)	3.3

備考:
 修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうちの他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 「不良債務額」、「不良債務比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)

都道府県名
青森県

市町村・組合名
南部町

病院名
国民健康保険南部町医療センター

施設及び業務概況等

法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当
建物面積	4,909 m ²	不採算地区中核病院	
診療科数	10	指定病院の状況	救
許可公営企業		看護配置	10:1
DPC対象病院	-	経営形態	直営
	類似区分	50床以上~100床未満	

損益計算書

区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,124,661			
1 経常収益	1,100,060			
(1) 医業収益	867,323			
入院収益	467,181			
外来収益	271,240			
診療収入計	738,421			
その他医業収益	128,902			
(うち他会計負担金)	35,105			
(2) 医業外収益	232,737			
(うち国・都道府県補助金)	74,036			
(うち他会計補助・負担金)	119,265			
(うち長期前受金戻入)	33,784			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	24,601			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,112,759			
2 経常費用	1,087,912			
(1) 医業費用	1,040,772			
職員給与費	618,577	71.3	62.1	78.9
材料費	120,250	13.9	25.3	15.6
(うち薬品費)	44,066	5.1	13.5	8.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	64,206	7.4	11.4	6.0
減価償却費	75,058	8.7	9.5	11.7
経費	223,941	25.8	22.7	31.2
(うち委託料)	103,803	12.0	12.6	14.3
研究研修費	1,084			
資産減耗費	1,862			
(2) 医業外費用	47,140			
(うち支払利息)	14,377	1.7	1.3	1.7
(3) 特別損失	24,847			
損益	12,148			
経常損益	11,902			
累積欠損金	-			
経常収支比率	101.1		101.9	100.3
医業収支比率	83.3		83.2	72.4
他会計繰入金対経常収益比率	14.0		12.3	23.6
他会計繰入金対医業収益比率	17.8		16.0	35.0
他会計繰入金対総収益比率	13.7		12.2	23.4
実質収益対経常費用比率	86.9		89.3	76.7

備考:
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

特殊診療機能欄
ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...べき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	26	88.1	86.1	93.6
療養	40	95.1	92.1	91.7
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	66	92.3	89.7	92.5
平均在院日数(一般病床のみ)	21.0	19.9	20.5	

設立団体の状況	
人口(人)	16,809
決算規模(千円)	15,845,143
標準財政規模(千円)	6,680,495
財政力指数	0.28
経常収支比率(%)	86.6
健全化実質赤字比率(%)	-
連結実質赤字比率(%)	-
実質公債費比率(%)	7.5
将来負担比率(%)	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	80.0
修正医業収益(千円)	832,218

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	154,370	154,370
資本勘定繰入	38,748	40,548
計	193,118	194,918

不良債務額・不良債務比率の過去3カ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうちの他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)

都道府県名
青森県

市町村・組合名
中部上北広域事業組合

病院名
公立七戸病院

施設及び業務概況等

法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド 訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当
建物面積	10,593 m ²	不採算地区中核病院	
診療科数	9	指定病院の状況	救 輸
許可公営企業	許可	看護配置	10:1
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	100床以上~200床未満

損益計算書

区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,100,053			
1 経常収益	2,087,071			
(1) 医業収益	1,539,623			
入院収益	920,292			
外来収益	363,776			
診療収入計	1,284,068			
その他医業収益	255,555			
(うち他会計負担金)	130,989			
(2) 医業外収益	547,448			
(うち国・都道府県補助金)	32,445			
(うち他会計補助・負担金)	417,095			
(うち長期前受金戻入)	94,339			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	12,982			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,182,740			
2 経常費用	2,170,890			
(1) 医業費用	2,092,939			
職員給与費	1,046,310	68.0	62.1	67.4
材料費	257,609	16.7	25.3	17.7
(うち薬品費)	80,189	5.2	13.5	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	159,928	10.4	11.4	8.8
減価償却費	148,849	9.7	9.5	10.7
経費	635,918	41.3	22.7	29.2
(うち委託料)	311,212	20.2	12.6	13.9
研究研修費	2,242			
資産減耗費	2,011			
(2) 医業外費用	77,951			
(うち支払利息)	6,954	0.5	1.3	1.5
(3) 特別損失	11,850			
損益	経常損益	-83,819		
純損益	-82,687			
累積欠損金	273,981			
経常収支比率	96.1		101.9	100.3
医業収支比率	73.6		83.2	79.7
他会計繰入金対経常収益比率	26.3		12.3	15.5
他会計繰入金対医業収益比率	35.6		16.0	20.8
他会計繰入金対総収益比率	26.1		12.2	15.6
実質収益対経常費用比率	70.9		89.3	84.8

備考:
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

特殊診療機能欄
ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...べき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	110	53.1	60.1	62.2
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	110	53.1	60.1	62.2
平均在院日数(一般病床のみ)		17.2	18.1	18.7

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	3,025,313
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	112.0
健全化実質赤字比率(%)	-
連結実質赤字比率(%)	-
実質公債費比率(%)	-
将来負担比率(%)	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	67.3
修正医業収益(千円)	1,408,634

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	418,084	548,084
資本勘定繰入	57,216	59,256
計	475,300	607,340

不良債務額・不良債務比率の過去3カ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	74,591	4.8
令和元年度	92,690	5.7
平成30年度	81,559	5.0

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	17.8
健全化法上の資金不足額(千円)	74,591
健全化法上の資金不足比率(%)	4.8
地財法上の資金不足額(千円)	167,891
地財法上の資金不足比率(%)	10.9

備考:

・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうちの他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。

・「不良債務額」、「不良債務比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

貸借対照表	
区分	決算額
資産合計	1,691,249
1 固定資産	1,411,743
(1) 有形固定資産	1,387,143
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	24,600
2 流動資産	279,506
(1) 現金及び預金	14,915
(2) 未収金及び未収収益	236,993
(3) 貸倒引当金()	201
(4) 貯蔵品	27,799
3 繰延資産	-
負債合計	1,890,537
1 固定負債	589,972
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	494,410
(2) その他の企業債	93,300
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一時借入金	180,000
(8) 未払金及び未払費用	88,045
(9) 前受金及び前受収益	-
2 流動負債	469,007
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	114,910
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	73,522
(6) 一時借入金	3,047
(7) 前受金	180,000
3 繰延収益	831,558
(1) 長期前受金	3,278,944
(2) 長期前受金収益化累計額()	2,447,386
資本合計	-199,288
1 資本	44,693
2 剰余金	-243,981
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-243,981
負債・資本合計	1,691,249
不良債務	74,591
実質資金不足額	74,591
資本不足額(繰延収益控除後)	199,288
備考	-

病院事業決算状況(令和2年度)

都道府県名
青森県

市町村・組合名
一部事務組合下北医療センター

病院名
むつ総合病院

施設及び業務概況等

法適用区分
当然財務
特殊診療機能
ド透・未訓練

病院区分
一般病院
不採算地区病院

建物面積
43,301 m²
不採算地区中核病院

診療科数
23
指定病院の状況
救臨・感・災

許可公営企業
看護配置
10:1

DPC対象病院
対象
経営形態
直営

類似区分
400床以上~500床未満

特殊診療機能欄
ド・人間ドック・透・人工透析・ICU・CCU・未熟児室・運動機能訓練室・ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄
救急告示病院・臨・臨床研修病院・が...がん診療連携拠点病院・感・感染症指定医療機関・へ...へき地医療拠点病院・災...災害拠点病院
地・地域医療支援病院・特・特定機能病院・輪・病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	376	78.1	87.0	84.5
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	54	73.7	80.6	93.8
感染症	4	1.0	-	-
計	434	76.9	85.4	84.9
平均在院日数(一般病床のみ)		17.0	17.0	16.4

損益計算書(千円・%)

区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	11,284,747			
1 経常収益	10,819,877			
(1) 医業収益	8,698,524			
入院収益	4,812,229			
外来収益	3,466,292			
診療収入計	8,278,521			
その他医業収益	420,003			
(うち他会計負担金)	188,111			
(2) 医業外収益	2,121,353			
(うち国・都道府県補助金)	720,806			
(うち他会計補助・負担金)	841,230			
(うち長期前受金戻入)	510,950			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	464,870			
(うち他会計繰入金)	10,000			
総費用	11,381,186			
2 経常費用	11,192,966			
(1) 医業費用	10,691,506			
職員給与費	5,164,978	59.4	62.1	59.8
材料費	2,474,449	28.4	25.3	27.7
(うち薬品費)	1,499,041	17.2	13.5	14.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	890,386	10.2	11.4	12.4
減価償却費	819,688	9.4	9.5	8.2
経費	2,164,679	24.9	22.7	19.2
(うち委託料)	934,523	10.7	12.6	10.2
研究研修費	62,654			
資産減耗費	5,058			
(2) 医業外費用	501,460			
(うち支払利息)	64,764	0.7	1.3	1.2
(3) 特別損失	188,220			
損益	経常損益	-373,089		
純損益	-96,439			
累積欠損金	1,622,940			
経常収支比率	96.7		101.9	103.7
医業収支比率	81.4		83.2	86.6
他会計繰入金対経常収益比率	9.5		12.3	10.2
他会計繰入金対医業収益比率	11.8		16.0	12.9
他会計繰入金対総収益比率	9.2		12.2	10.1
実質収益対経常費用比率	87.5		89.3	93.1

備考:
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化実質赤字比率(%)	-
連結実質赤字比率(%)	-
実質公債費比率(%)	-
将来負担比率(%)	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	79.6
修正医業収益(千円)	8,510,413

他会計からの繰入状況(千円)	
区分	基準額
収益勘定繰入	972,483
資本勘定繰入	548,928
計	1,521,411
実繰入額	1,039,341
616,511	1,655,852

不良債務額・不良債務比率の過去3カ年推移	
年度	不良債務額(千円)
令和2年度	-
令和元年度	-
平成30年度	-
不良債務比率(%)	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	12.2
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうちの他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	15,380,585
1 固定資産	9,265,354
(1) 有形固定資産	9,177,200
(2) 無形固定資産	7,055
(3) 投資その他の資産	81,099
2 流動資産	6,115,231
(1) 現金及び預金	569,418
(2) 未収金及び未収収益	4,312,331
(3) 貸倒引当金()	41,960
(4) 貯蔵品	161,387
3 繰延資産	-
負債合計	15,682,203
1 固定負債	5,127,249
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,572,817
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	1,418,726
(7) 一時債務	135,706
2 流動負債	6,715,547
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,065,102
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	332,581
(6) 一時債務	27,635
(7) 一時借入金	3,800,000
(8) 未払金及び未払費用	725,112
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	3,839,407
(1) 長期前受金	11,367,255
(2) 長期前受金収益化累計額()	7,527,848
資本合計	-301,618
1 資本	342,191
2 剰余金	-643,809
(1) 資本	483,880
(2) 利益	-1,127,689
負債・資本合計	15,380,585
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	301,618
備考	当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

病院事業決算状況(令和2年度)

都道府県名
青森県

市町村・組合名
一部事務組合下北医療センター

病院名
国保大間病院

施設及び業務概況等

法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当
建物面積	3,928 m ²	不採算地区中核病院	
診療科数	7	指定病院の状況	救へ
許可公営企業		看護配置	10:1
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	50床未満

損益計算書

区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,008,591			
1 経常収益	966,706			
(1) 医業収益	706,503			
入院収益	290,145			
外来収益	325,659			
診療収入計	615,804			
その他医業収益	90,699			
(うち他会計負担金)	43,190			
(2) 医業外収益	260,203			
(うち国・都道府県補助金)	43,578			
(うち他会計補助・負担金)	170,055			
(うち長期前受金戻入)	38,202			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	41,885			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	944,790			
2 経常費用	922,085			
(1) 医業費用	891,177			
職員給与費	496,465	70.3	62.1	89.0
材料費	109,136	15.4	25.3	14.0
(うち薬品費)	48,865	6.9	13.5	7.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	52,190	7.4	11.4	5.4
減価償却費	81,719	11.6	9.5	13.0
経費	201,504	28.5	22.7	47.1
(うち委託料)	64,254	9.1	12.6	22.5
研究研修費	2,201			
資産減耗費	152			
(2) 医業外費用	30,908			
(うち支払利息)	1,263	0.2	1.3	1.3
(3) 特別損失	22,705			
損益	44,621			
経常損益	44,621			
純損益	63,801			
累積欠損金	-			
経常収支比率	104.8		101.9	98.5
医業収支比率	79.3		83.2	61.0
他会計繰入金対経常収益比率	22.1		12.3	34.7
他会計繰入金対医業収益比率	30.2		16.0	60.0
他会計繰入金対総収益比率	21.1		12.2	34.9
実質収益対経常費用比率	81.7		89.3	64.4

備考:
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

特殊診療機能欄
ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	48	56.9	69.5	71.5
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	48	56.9	69.5	71.5
平均在院日数(一般病床のみ)		14.0	17.2	19.1

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化実質赤字比率(%)	-
連結実質赤字比率(%)	-
判断比率実質公債費比率(%)	-
将来負担比率(%)	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	74.4
修正医業収益(千円)	663,313

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	126,449	213,245
資本勘定繰入	72,024	20,575
計	198,473	233,820

不良債務額・不良債務比率の過去3カ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	12.2
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうちの他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

備考:
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

病院事業決算状況(令和2年度)

都道府県名
青森県

市町村・組合名
一部事務組合下北医療センター

病院名
むつリハビリテーション病院

施設及び業務概況等

法適用区分	当然財務	特殊診療機能	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	7,054 m ²	不採算地区中核病院	非該当
診療科数	2	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	25:1
DPC対象病院	-	経営形態	指定管理者(利用料金制)
		類似区分	100床以上~200床未満

特殊診療機能欄
ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...べき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	-	-	-	-
療養	120	86.7	92.1	91.8
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	120	86.7	92.1	91.8
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

損益計算書(千円・%)

区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	79,637			
1 経常収益	79,637			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	79,637			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	29,295			
(うち長期前受金戻入)	49,738			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	86,663			
2 経常費用	86,663			
(1) 医業費用	80,862			
職員給与費	-	62.1	67.4	
材料費	693	25.3	17.7	
(うち薬品費)	-	13.5	8.3	
(うち薬品費以外の医薬材料費)	693	11.4	8.8	
減価償却費	55,294	9.5	10.7	
経費	24,706	22.7	29.2	
(うち委託料)	2,490	12.6	13.9	
研究研修費	-			
資産減耗費	169			
(2) 医業外費用	5,801			
(うち支払利息)	3,884	1.3	1.5	
(3) 特別損失	-			
損益経常損益	-7,026			
純損益	-7,026			
累積欠損金	-			
経常収支比率	91.9	101.9	100.3	
医業収支比率	-	83.2	79.7	
他会計繰入金対経常収益比率	36.8	12.3	15.5	
他会計繰入金対医業収益比率	-	16.0	20.8	
他会計繰入金対総収益比率	36.8	12.2	15.6	
実質収益対経常費用比率	58.1	89.3	84.8	

備考:

「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化実質赤字比率(%)	-
連結実質赤字比率(%)	-
判断比率実質公債費比率(%)	-
将来負担比率(%)	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収益(千円)	-

他会計からの繰入状況(千円)	
区分	基準額
収益勘定繰入	27,214
資本勘定繰入	24,243
計	51,457
実繰入額	29,295
47,790	77,085

不良債務額・不良債務比率の過去3カ年推移	
年度	不良債務額(千円)
令和2年度	-
令和元年度	-
平成30年度	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	12.2
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:

・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうちの他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。

・「不良債務額」、「不良債務比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	15,380,585
1 固定資産	9,265,354
(1) 有形固定資産	9,177,200
(2) 無形固定資産	7,055
(3) 投資その他の資産	81,099
2 流動資産	6,115,231
(1) 現金及び預金	569,418
(2) 未収金及び未収収益	4,312,331
(3) 貸倒引当金()	41,960
(4) 貯蔵品	161,387
3 繰延資産	-
負債合計	15,682,203
1 固定負債	5,127,249
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,572,817
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	1,418,726
(7) 一時債務	135,706
2 流動負債	6,715,547
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,065,102
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	332,581
(6) 一時債務	27,635
(7) 一時借入金	3,800,000
(8) 未払金及び未払費用	725,112
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	3,839,407
(1) 長期前受金	11,367,255
(2) 長期前受金収益化累計額()	7,527,848
資本合計	-301,618
1 資本	342,191
2 剰余金	-643,809
(1) 資本	483,880
(2) 利益	-1,127,689
負債・資本合計	15,380,585
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	301,618
備考	

当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

病院事業決算状況(令和2年度)

都道府県名
青森県

市町村・組合名
北部上北広域事務組合

病院名
公立野辺地病院

施設及び業務概況等

法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	
建物面積	14,378 m ²	不採算地区中核病院	第2種該当
診療科数	14	指定病院の状況	救へ
許可公営企業		看護配置	10:1
DPC対象病院	-	経営形態	直営
	類似区分	100床以上~200床未満	

特殊診療機能欄
ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...べき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	120	75.0	67.4	77.5
療養	31	71.7	66.1	50.8
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	151	74.3	67.1	72.0
平均在院日数(一般病床のみ)		15.7	17.6	17.4

損益計算書(千円・%)

区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,912,933			
1 経常収益	2,884,633			
(1) 医業収益	2,404,743			
入院収益	1,407,705			
外来収益	675,950			
診療収入計	2,083,655			
その他医業収益	321,088			
(うち他会計負担金)	224,792			
(2) 医業外収益	479,890			
(うち国・都道府県補助金)	162,434			
(うち他会計補助・負担金)	206,801			
(うち長期前受金戻入)	54,344			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	28,300			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,786,200			
2 経常費用	2,757,900			
(1) 医業費用	2,621,453			
職員給与費	1,552,079	64.5	62.1	67.4
材料費	340,266	14.1	25.3	17.7
(うち薬品費)	144,891	6.0	13.5	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	195,132	8.1	11.4	8.8
減価償却費	175,869	7.3	9.5	10.7
経費	547,004	22.7	22.7	29.2
(うち委託料)	254,216	10.6	12.6	13.9
研究研修費	4,256			
資産減耗費	1,979			
(2) 医業外費用	136,447			
(うち支払利息)	14,814	0.6	1.3	1.5
(3) 特別損失	28,300			
損益経常損益	126,733			
純損益	126,733			
累積欠損金	3,826,513			
経常収支比率	104.6		101.9	100.3
医業収支比率	91.7		83.2	79.7
他会計繰入金対経常収益比率	15.0		12.3	15.5
他会計繰入金対医業収益比率	17.9		16.0	20.8
他会計繰入金対総収益比率	14.8		12.2	15.6
実質収益対経常費用比率	88.9		89.3	84.8

備考:
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	1,941,896
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	98.5
健全化実質赤字比率(%)	-
連結実質赤字比率(%)	-
実質公債費比率(%)	-
将来負担比率(%)	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	83.2
修正医業収益(千円)	2,179,951

他会計からの繰入状況(千円)	
区分	基準額
収益勘定繰入	431,169
資本勘定繰入	138,039
計	569,208
実績額	431,593
資本額	140,439
計	572,032

不良債務額・不良債務比率の過去3カ年推移	
年度	不良債務額(千円)
令和2年度	62,915
令和元年度	300,680
平成30年度	161,607
不良債務比率(%)	2.6
13.9	
7.2	

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	159.1
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	62,915
地財法上の資金不足比率(%)	2.6

備考:

- 修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうちの他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
- 「不良債務額」、「不良債務比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
- 設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)

都道府県名
青森県

市町村・組合名
つがる西北五広域連合

病院名
つがる総合病院

施設及び業務概況等

法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透 訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	
建物面積	36,872 m ²	不採算地区中核病院	第2種該当
診療科数	23	指定病院の状況	救臨 感 災 輪
許可公営企業		看護配置	7:1
DPC対象病院	対象	経営形態	直営
		類似区分	400床以上~500床未満

特殊診療機能欄
ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄
救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...べき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	390	62.7	66.6	70.3
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	44	56.5	68.8	69.8
感染症	4	13.2	3.3	0.1
計	438	61.7	66.3	69.6
平均在院日数(一般病床のみ)		13.0	11.9	13.2

損益計算書(千円・%)

区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	12,131,781			
1 経常収益	11,900,693			
(1) 医業収益	9,011,094			
入院収益	5,705,173			
外来収益	2,959,356			
診療収入計	8,664,529			
その他医業収益	346,565			
(うち他会計負担金)	170,103			
(2) 医業外収益	2,889,599			
(うち国・都道府県補助金)	1,167,238			
(うち他会計補助・負担金)	1,250,303			
(うち長期前受金戻入)	408,735			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	231,088			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	11,387,556			
2 経常費用	11,174,483			
(1) 医業費用	10,660,389			
職員給与費	5,125,749	56.9	62.1	59.8
材料費	2,381,695	26.4	25.3	27.7
(うち薬品費)	1,106,357	12.3	13.5	14.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,275,338	14.2	11.4	12.4
減価償却費	950,281	10.5	9.5	8.2
経費	2,168,463	24.1	22.7	19.2
(うち委託料)	1,154,057	12.8	12.6	10.2
研究研修費	11,316			
資産減耗費	22,885			
(2) 医業外費用	514,094			
(うち支払利息)	1,811	-	1.3	1.2
(3) 特別損失	213,073			
損益経常損益	726,210			
純損益	744,225			
累積欠損金	3,471,324			
経常収支比率	106.5		101.9	103.7
医業収支比率	84.5		83.2	86.6
他会計繰入金対経常収益比率	11.9		12.3	10.2
他会計繰入金対医業収益比率	15.8		16.0	12.9
他会計繰入金対総収益比率	11.7		12.2	10.1
実質収益対経常費用比率	93.8		89.3	93.1

備考:
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	602,830
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	96.7
健全化実質赤字比率(%)	-
連結実質赤字比率(%)	-
実質公債費比率(%)	-
将来負担比率(%)	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	82.9
修正医業収益(千円)	8,840,991

他会計からの繰入状況(千円)	
区分	基準額
収益勘定繰入	1,240,714
資本勘定繰入	123,636
計	1,364,350
実繰入額	1,420,406
121,007	1,541,413

不良債務額・不良債務比率の過去3カ年推移	
年度	不良債務額(千円)
令和2年度	-
令和元年度	-
平成30年度	-
不良債務比率(%)	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	30.4
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうちの他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

病院事業決算状況(令和2年度)

都道府県名
青森県

市町村・組合名
つがる西北五広域連合

病院名
かなぎ病院

施設及び業務概況等

法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド 訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当
建物面積	9,230 m ²	不採算地区中核病院	
診療科数	8	指定病院の状況	救
許可公営企業		看護配置	10:1
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	100床以上~200床未満

特殊診療機能欄
ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄
救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...べき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	60	68.9	78.4	84.3
療養	40	66.3	77.8	81.4
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	100	67.8	78.2	83.1
平均在院日数(一般病床のみ)		18.4	18.6	19.0

損益計算書(千円・%)

区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,389,963			
1 経常収益	1,380,506			
(1) 医業収益	1,021,562			
入院収益	684,685			
外来収益	267,551			
診療収入計	952,236			
その他医業収益	69,326			
(うち他会計負担金)	40,468			
(2) 医業外収益	358,944			
(うち国・都道府県補助金)	5,947			
(うち他会計補助・負担金)	286,003			
(うち長期前受金戻入)	63,813			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	9,457			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,651,407			
2 経常費用	1,641,950			
(1) 医業費用	1,595,342			
職員給与費	967,859	94.7	62.1	67.4
材料費	143,765	14.1	25.3	17.7
(うち薬品費)	69,063	6.8	13.5	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	62,391	6.1	11.4	8.8
減価償却費	139,566	13.7	9.5	10.7
経費	342,572	33.5	22.7	29.2
(うち委託料)	191,865	18.8	12.6	13.9
研究研修費	1,125			
資産減耗費	455			
(2) 医業外費用	46,608			
(うち支払利息)	128	-	1.3	1.5
(3) 特別損失	9,457			
損益経常損益	-261,444			
純損益	-261,444			
累積欠損金	72,812			
経常収支比率	84.1		101.9	100.3
医業収支比率	64.0		83.2	79.7
他会計繰入金対経常収益比率	23.6		12.3	15.5
他会計繰入金対医業収益比率	32.0		16.0	20.8
他会計繰入金対総収益比率	23.5		12.2	15.6
実質収益対経常費用比率	64.2		89.3	84.8

備考:
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	602,830
標準財政規模(千円)	-
財政力指數	-
経常収支比率(%)	96.7
健全化実質赤字比率(%)	-
連結実質赤字比率(%)	-
実質公債費比率(%)	-
将来負担比率(%)	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	61.5
修正医業収益(千円)	981,094

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	325,392	326,471
資本勘定繰入	34,631	34,631
計	360,023	361,102

不良債務額・不良債務比率の過去3カ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	30.4
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 • 修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうちの他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 • 「不良債務額」、「不良債務比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 • 設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	19,415,479
1 固定資産	14,773,989
(1) 有形固定資産	13,288,353
(2) 無形固定資産	117,734
(3) 投資その他の資産	1,367,902
2 流動資産	4,641,490
(1) 現金及び預金	2,471,747
(2) 未収金及び未収収益	2,143,859
(3) 貸倒引当金()	44,304
(4) 貯蔵品	69,980
3 繰延資産	-
負債合計	17,881,939
1 固定負債	5,674,779
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	5,299,748
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	375,031
(7) リース債務	-
2 流動負債	1,929,314
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	582,415
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	452,139
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	60,000
(8) 未払金及び未払費用	796,467
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	10,277,846
(1) 長期前受金	16,367,680
(2) 長期前受金収益化累計額()	6,089,834
資本合計	1,533,540
1 資本	4,982,345
2 剰余金	-3,448,805
(1) 資本	-
(2) 利益	-3,448,805
負債・資本合計	19,415,479
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)	-
備考	当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

病院事業決算状況(令和2年度)

都道府県名
青森県

市町村・組合名
つがる西北五広域連合

病院名
鰺ヶ沢病院

施設及び業務概況等

法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド 訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当
建物面積	7,616 m ²	不採算地区中核病院	
診療科数	8	指定病院の状況	救 へ
許可公営企業		看護配置	13:1
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	50床以上~100床未満

損益計算書

区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,714,029			
1 経常収益	1,701,378			
(1) 医業収益	1,310,053			
入院収益	515,362			
外来収益	742,230			
診療収入計	1,257,592			
その他医業収益	52,461			
(うち他会計負担金)	34,905			
(2) 医業外収益	391,325			
(うち国・都道府県補助金)	61,606			
(うち他会計補助・負担金)	297,134			
(うち長期前受金戻入)	27,560			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	12,651			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,788,430			
2 経常費用	1,775,779			
(1) 医業費用	1,697,445			
職員給与費	816,627	62.3	62.1	78.9
材料費	426,256	32.5	25.3	15.6
(うち薬品費)	332,750	25.4	13.5	8.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	93,506	7.1	11.4	6.0
減価償却費	128,014	9.8	9.5	11.7
経費	309,579	23.6	22.7	31.2
(うち委託料)	190,284	14.5	12.6	14.3
研究研修費	1,990			
資産減耗費	14,979			
(2) 医業外費用	78,334			
(うち支払利息)	58	-	1.3	1.7
(3) 特別損失	12,651			
損益	経常損益	-74,401		
純損益	-74,401			
累積欠損金	-			
経常収支比率	95.8		101.9	100.3
医業収支比率	77.2		83.2	72.4
他会計繰入金対経常収益比率	19.5		12.3	23.6
他会計繰入金対医業収益比率	25.3		16.0	35.0
他会計繰入金対総収益比率	19.4		12.2	23.4
実質収益対経常費用比率	77.1		89.3	76.7

備考:
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

特殊診療機能欄
ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...べき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	70	67.2	55.9	57.9
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	70	67.2	55.9	57.9
平均在院日数(一般病床のみ)		20.0	22.8	20.9

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	602,830
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	96.7
健全化実質赤字比率(%)	-
連結実質赤字比率(%)	-
実質公債費比率(%)	-
将来負担比率(%)	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	75.1
修正医業収益(千円)	1,275,148

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	332,039	332,039
資本勘定繰入	34,414	35,316
計	366,453	367,355

不良債務額・不良債務比率の過去3カ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	30.4
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうちの他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

備考:
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。